

平成 23 年度施設運営方針

広島県立福山少年自然の家

施設運営の目的	広島県の次代を担う子どもたちの生きる力や豊かな心を育成するため、青少年教育の拠点施設として、教育効果の高い体験活動の普及、推進を行う
施設運営方針	<p>キャッチフレーズ「輝きの森で心の響き合う創造的な体験活動を！」</p> <p>1 教育目標</p> <p>(1) 自然の恩恵に触れ自然に親しむ心や敬けんの念を育てる。 (2) 集団宿泊生活を通じて、規律・協同・友愛・奉仕の精神を養う。 (3) 野外活動を通じて、心や体を鍛える。</p> <p>2 施設運営方針</p> <p>(1) 自然と人づくりをキーワードに質の高い体験的学びの場を創出する。 (2) 学校・家庭・地域との連携を深め、互いに響き合う施設運営を行う。 (3) 生涯学習の場として、安心・安全を届ける開かれた施設づくりを行う。</p> <p>3 拠点機能</p> <p>(1) 指導者・リーダーの養成 (2) プログラム開発 (3) 開発したプログラムの検証・改善 (4) 施設の維持管理</p>
施設運営プラン	<p>1 ECHOプラン21の推進</p> <p>～人間力の基礎を培う体験力の育成への新たなる挑戦！～</p> <p>Emotion 体験的好奇心を育む感動プランの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの豊かな心を育む質の高い主催事業の実施 ・発達段階に応じた体験活動プログラムの研究・開発など <p>Challenge 教育課題に対応したチャレンジプランの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒の意欲を育む体験活動の推進 ・体験活動の効果測定に関する調査・研究など <p>Hope 安心・安全を届ける希望プランの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設運営の効率化及び教育環境の整備 ・安全管理・危機管理の強化 <p>Original 人づくりを基軸としたオリジナルプランの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動指導者研修の実施及びネットワークづくり ・青年の地域貢献活動の促進 <p>2 アクションプラン</p> <p>(1) 施設運営の効率化及び活性化を図る。 (2) 危機管理を強化する。 (3) 体験活動指導者・リーダーを養成する。 (4) 体験活動プログラムの開発・検証を行う。 (5) 小学校における長期宿泊体験活動を積極的に支援する。 (6) 自然環境教育及び地域文化体験など、特色ある体験活動を提供する。 (7) 体験活動の効果測定手法に関する調査・研究を行う。</p>
施設の概要	<p>1 沿革</p> <p>昭和 55 年 4 月 1 日、自然環境のもとで、集団宿泊生活を通じて、健全な少年の育成を図るため、広島県立福山少年自然の家が設置された。平成 14 年度から 3 次（3 年間）にわたる行政評価が行われ、平成 18 年度、県立の青少年教育施設として存続が決定した。平成 19 年度から県立施設として拠点化が図られ、大規模改修を経て現在に至っている。平成 22 年度開所 30 周年イベントを実施し、開所以来延べ利用者数 130 万人を達成した。</p> <p>2 利用状況</p> <p>(1) 平成 20 年度延利用者数（団体数） 41,115 人（718 団体） (2) 平成 21 年度延利用者数（団体数） 41,291 人（665 団体） (3) 平成 22 年度延利用者数（団体数） 39,917 人（647 団体）</p>

平成 23 年度行政課題への対応方針

広島県立福山少年自然の家

課 題	項 目	取組の具体策
安全・安心な施設づくり	情報提供機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページのリニューアルによる情報提供機能の充実 ○学校訪問・相談体制，施設広報の充実
	安全管理・危機管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○安全点検，避難訓練等の実施 ○利用者への安全指導の徹底 ○バリアフリー化の促進 ○野外活動時の災害及び事故を想定した実地訓練等による危機管理の強化
拠点機能の拡充	指導者・リーダーの養成	<ul style="list-style-type: none"> ○体験活動指導者研修会の実施（年間 2 回） 指導要領を生かした自然体験活動を実践できる教職員の養成 ○基礎自治体の体験活動の指導者養成 ○社会教育関係団体等のリーダー養成
	プログラム開発	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの発達段階や学校の教育課程に対応した体験活動プログラムの開発 ○新たな教育問題に対応した体験活動プログラムの開発
	開発プログラムの検証と成果の普及	<ul style="list-style-type: none"> ○開発プログラムの検証・改善 ○体験活動の効果測定に関する調査研究 ○開発プログラムの普及
	施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ○適正・効率的な予算執行 ○年次計画に基づく施設整備・改修 ○野外活動設備・看板等の維持管理
質の高い体験活動の提供	教育課題に対応した事業	<ul style="list-style-type: none"> ○不登校及び不登校傾向の児童生徒を対象とした里山夢体験事業の実施（年間 3 回程度） ○発達段階に対応したプログラム開発
	長期自然体験活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校における長期自然体験活動の促進 ○「山・海・島」体験活動の受入に伴う，相談活動，プログラムの提供などによる支援
	青年の地域貢献活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○高校・大学等のインターンシップの受入 ○中学校の職場体験の受入に係る連携 ○ボランティアの養成等の青年の地域貢献活動の支援
	主催事業の実施	<p>NPO 法人等との協働により，体験活動実践交流会及び体験活動指導者の養成や児童生徒を対象とした質の高い自然体験活動を年間 13 事業程度実施する。</p>
その他	緊急対応	<ul style="list-style-type: none"> ○東北地方太平洋沖地震に関する対応 (生涯学習課の指示・連携による対応)